

『令和元年度 みやぎ防災ジュニアリーダー養成研修会／東日本大震災メモリアル day 2019』を開催しました（2020/1/25-26）

テーマ：東日本大震災、防災ジュニアリーダー、高校生
場所：多賀城市文化センター、宮城県多賀城高等学校ほか

2020年1月25日～26日、宮城県教育委員会の主催、東北大学災害科学国際研究所の共催、宮城県多賀城高等学校の主管により、多賀城市文化センターおよび宮城県多賀城高等学校を主会場として、「令和元年度 みやぎ防災ジュニアリーダー養成研修会／東日本大震災メモリアル day2019」が以下の目的で開催されました。

【目的】本研修の目的は次の通りである。将来の宮城を支え、自主防災組織等における次世代のリーダーなど将来の地域の防災活動の担い手を育成するため、防災に関する知識・技術を習得し、防災や減災への取組に自発的に協力、活動する高校生をみやぎ防災ジュニアリーダーとして養成する。また、全国の高校生が、自らの課題研究などの成果を発表するとともに、ワークショップなどを通して意見交換することで、東日本大震災の経験と教訓を後世に継承し、国内外の減災に貢献する。

参加生徒は、多賀城高等学校災害科学科の1年生40名、2年生24名のほか宮城県内の高校15校から28名、県外の高校15校32名、多賀城市内の中学校4校17名、全体で141名の参加者となりました。

1日目の研修では、宮城県教育庁スポーツ健康課の駒木康伸課長の開会挨拶の後、講義Ⅰとして、名取市立みどり台中学校の平塚真一郎校長より「防災ジュニアリーダーに期待すること」と題した講義、講義Ⅱとして、当研究所の佐藤 健教授（情報管理・社会連携部門）より「自然災害の基礎と地域における災害対策」と題した講義が行われました。午後は、スタディツアーが実施され、柴山明寛准教授（情報管理・社会連携部門）が県外高校生の視察先である震災遺構荒浜小学校および荒浜地区のガイドを行いました。スタディツアーから多賀城市文化センターに戻り、県内・県外高校生合同の開校式が宮城県教育委員会の伊東昭代教育長の出席のもと開催されました。当研究所の今村文彦所長による基調講演「東日本大震災の教訓と最近の災害の特徴と備え」の後、多賀城高校オリジナルの災害イマジネーションゲームDIGを使ったワークショップを実施し、夕食交流会で初日の研修を終えました。

2日目の研修では、参加者による学校紹介などの全体会の後、各参加者の研究成果のポスター形式での発表と質疑応答が行われました。閉校式では「みやぎジュニアリーダー」認定書の授与も行われました。受講者の代表者が2日間の研修の成果とみやぎ防災ジュニアリーダーとしての今後の意欲を述べました。

文責：佐藤 健・柴山 明寛（情報管理・社会連携部門）
（次頁へつづく）



講義の様子



スタディツアー（閑上）様子



今村所長による基調講演



DIG ワークショップの様子



ポスターセッションの様子



受講修了証の授与